◆2022年12月の新刊

日本キリスト教団出版局

20世紀を代表する霊的指導者ナウエンの主著、

待望の新訳!

ナウエン・セレクション《第4回配本》

傷ついた癒やし人新

ヘンリ・ナウエン 著

1932年、オランダ生まれ。1957年、カトリック司祭に叙階される。心理学を学んだ後、イェール大学、ハーバード大学で教鞭を執り、執筆活動を行う。1986年、カナダのラルシュ共同体に移住、ハンディキャップを持つ人々と生活を共にする。1996年、心臓発作により死去。

わたなべじゅん こ

渡辺順子 訳 酒井陽介 解語

翻訳家

イエズス会司祭(臨床心理学専攻)、上智大学教員

私たちは自分の傷を否定する必要はない。むしろこの痛みが隣人に共感する基盤となる。そう気づくとき、痛みは希望のしるしに変わる。「仕える生き方」を願うすべての牧会者、キリスト者必読の書。ナウエン研究の第一人者、酒井陽介神父による書き下ろしの解説も収録。

四六判・並製・168頁・定価1,980円(本体1,800円+税) ISBN978-4-8184-1124-1 C0016



シ リ ー ズ 好評発売中 『今日のパン、明日の糧 暮らしにいのちを吹きこむ366のことば』定価2,640円 『アダム 神の愛する子』定価2,200円 『死を友として生きる 「最大の贈り物」&「鏡の向こう」』定価2,420円